

④ ものがたりを読んだかんそつを書いじ。

- ・心のこったこと
- ・思ったこと、考えたこと
- ・ふしぎに思ったこと
- ・自分とくらべて
- ・文章の書き方のくふう

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

④ 「1」、「2」の場面に書かれてくるN1Jとをせら埋めよう。

ねだん	音	登場人物がしたこと		場所・天気などのようす		
		お客さん	きつつき	天気	場所	
			登場人物()			1
			登場人物()			2

㊦ おしおきが聞かされた音は「しんしん」といって「しんしん」といふ。

① 場面に書かれないところの音をかくし埋めよう。

場面

1

したこと	
言ったこと	
音を聞いた後 のようす	

② ㊦おしおきたちの気もちや心の理由などをかいて書きまわそう。

・気もち

Blank box for writing feelings or reasons.

・その理由

Blank box for writing reasons.

④ おしおきが聞かされた音(トシトシ、ネンネン)を聞いて、おしおきの名前を聞き取った。

① 場面に書かれたおしおきの名前を聞き取った。

場面

2

したこと	
言ったこと	
音を聞いた後 のようす	

② おしおきの名前を聞き取った理由を説明してください。

・読みまち

Blank box for writing the reason for identifying the name.

・その理由

Blank box for writing the reason.

④ 「きつしきの商売」の3の場面を考えよう。

○ 自分で「3」の場面を作るなら、どのようなものがたりにしますか。そしてどうして書きましよう。

登場人物	場所や天気 など	音	出来事など
・店の人―― ・おきやく――			

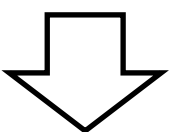
(教科書四十ページ～四十五ページ)

④ 友だちに知らせたいじゆんを考えよう。

○ 友だちがじゆんしたくな話をだいを考えよう。

テーマわい

- すきなものじゆん
- やいぎんはじめじゆん
- ねうちゆうじゆん
- 自分の家じゆん
- かっしんじゆん
- 休みの日にしたこと、行ったじゆん



自分のテーマ

○ 友だちに知らせたいじゆんをを考えて、かんたんなメモを書こう。

•

•

•

•

•

•

自分のテーマ

<メモのねい>

すきなじゆ・ラグビー

・大学生になってラグビーをはじめた。

・日本だいひょうをめぐっていた。

・十五このポジションそれぞれにやわらがあるのがおもしろい。

・ワールドカップがもり上がってうれしかった。

・たくさんの人に知ってほしい

(教科書四十ページ～四十五ページ)

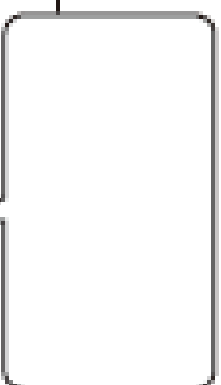
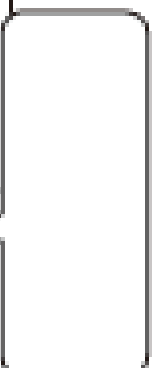
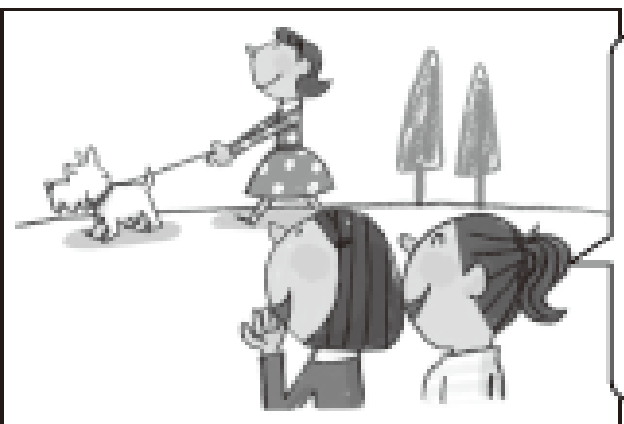
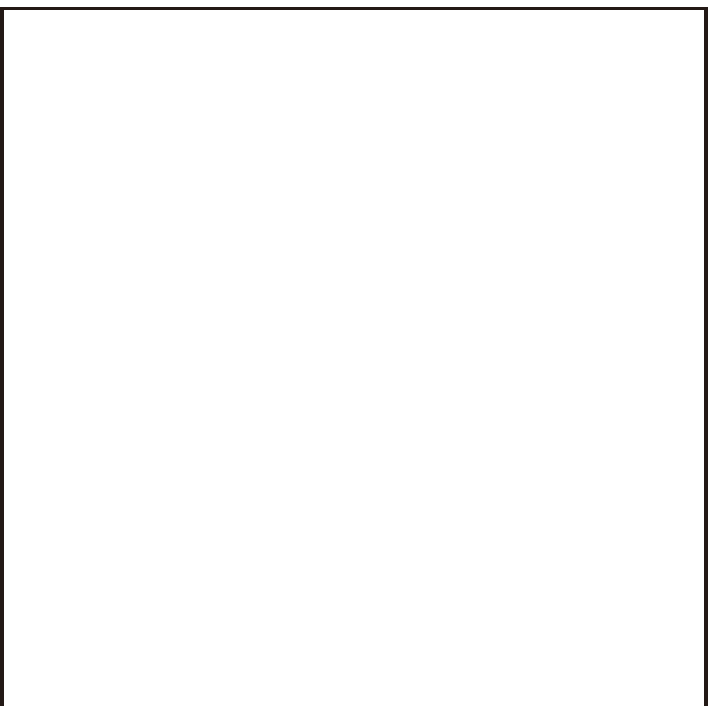
④ 相手にきちんとしたえるために、大切なことを考えよう。

● 44ページ「きちんとつたえるために」を読んで考えましょう。

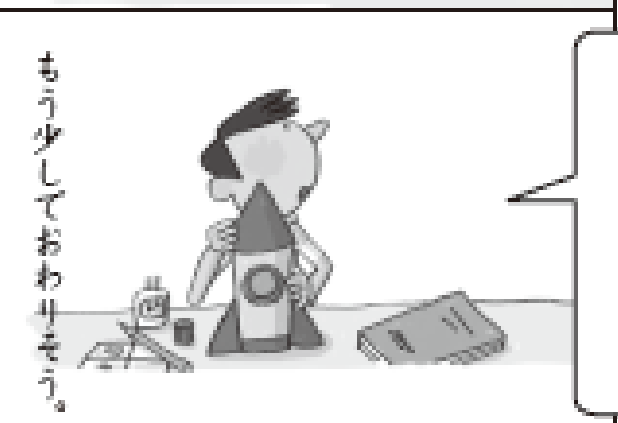
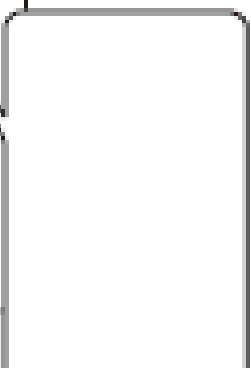
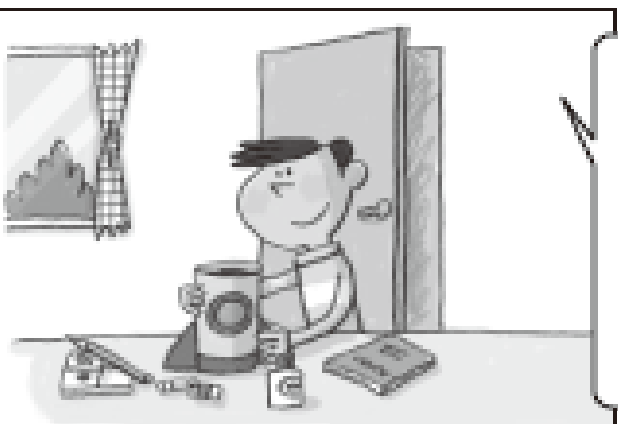
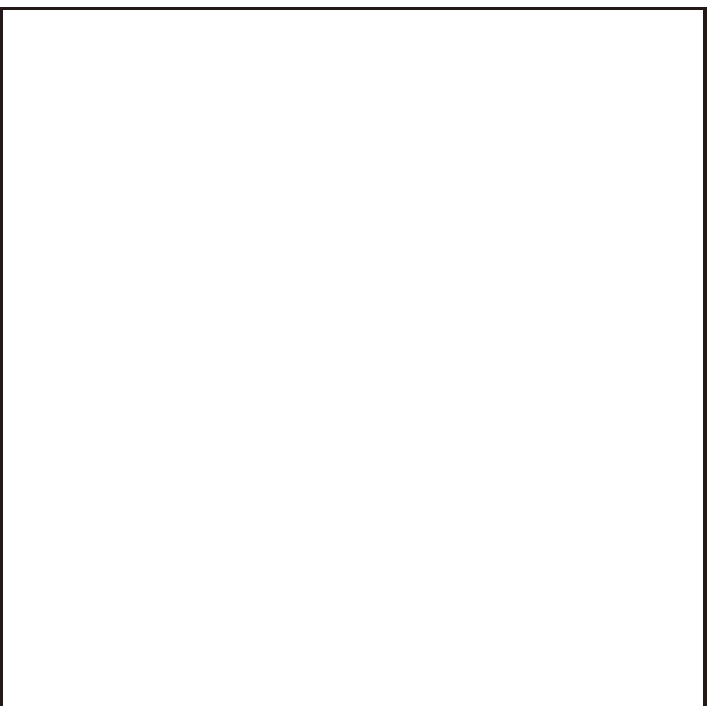
・どうして、話が食いちがって
しまったのでしょうか。

・どのように言えばよかったの
でしょうか。

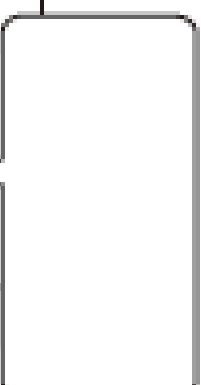
(44ページ)



(45ページ)



もう少ししておわらせよう。



④ 漢字の読み方について知ろう。

○ 教科書二十八、三十九ページを読んで、□に言葉を入れましょう。

言葉 漢字の音と訓

次の文を読んでみましょう。

今日は、朝早くおきて、
ゆっくり朝食をとった。



漢字の読み方には、「音」と「訓」があります。「朝」をれいに□□み□□う。

朝

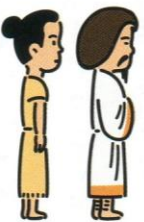
(音) チョウ 朝食 早朝
(訓) あさ 朝 朝顔

「チョウ」のような「音」は、聞いただけでは意味の分かり「あさ」のような「訓」には、聞いてすぐに意味の分かる□□かたくさんあります。どうして、漢字には、「音」と「訓」の二通りの読み方があるのでしょうか。漢字は、はるか昔に中国で生まれました。いっぽう、日本□□もともと文字がありませんでした。そこで、昔の日本人は、中国の漢字を使って、日本語を

次 ○ 朝 ○ 食
早 ○ 朝
昔 ○ 朝

書き表せるようにしました。

たとえば、中国では、「山」という漢字を「サン」というような発音で読んでいました。そこで、日本でもこの漢字を「サン」と読みました。これが、「音」です。いっぽう、日本では、「まわりの土地より高くなっている所」のことを、「やま」といっていました。そこで、この漢字を「やま」とも読むことにしました。これが、「訓」です。それで、「音」と「訓」の読み方があるのです。



1 線の言葉では、音と訓のどちらが使われているでしょうか。

「これまでに習った漢字」 148ページ

- ・ 県道ぞいに、有名な公園がある。
- ・ 氷がとけて水になる。
- ・ 一分は六十秒だ。
- ・ 農家のおじさんに話をきく。
- ・ 毎日、野球のれんしゅうをする。
- ・ ゆうびん局までの近道を教える。

2 次の漢字の音と訓をどちらも使って、文を作りましょう。

- ・ 下
- ・ 回
- ・ 切
- ・ 楽

□ □ □ □ □ □

書き表す
発音 ○ 県道 ○ 有名
氷 ○ 一分
六十秒
農家 ○ 野球
ゆうびん局
小学校

しるしをつけて。

下

回

切

樂

㊦ 漢字の音と訓の使い方をれんしゅうしよう。

① 次の——線の漢字の読み方を書き、同じ漢字で読み方のちがうものは、音はかたかな、訓はひらがなで、下に書き出しましょう。

〈れい〉

朝あさ早くおきて、ゆっくり朝あさ食シヨウをとった。

(1) 物語の登場人物になりきって音読する。

(2) 午後ケに後カかたづけをしよう。

(3) 教科書カウショを見て、字ジを書いた。

(4) 家カの中から家族カウゾウのわらい声コエが聞こえる。

家		書		後		物		朝	
訓	音	訓	音	訓	音	訓	音	訓	音
								あさ	チヨウ

② ——線の漢字の読み方を、音はかたかな、訓はひらがなで書きましょう。分からないときは、148～156ページで調べましょう。

(1) 大切チウセツ 大きいオホキ 大学生ダイガクシ

(2) 遠足エンソク 足のうらアシノウラ 足りないタリナイ

(3) 五十音イソオン リコーダーの音ネ 音色オンシキ

(4) 数字シジ 数えるカエル 大きな数オホキナカズ

(5) 開店カイテン 店を開くカク ドアを開けるアケル

(6) 人間ニヤウ となりの人トナリノヒト 人物ニヤウブツ

㊦ 漢字を正しく使って、動物園のようすを文に書いじょう。

※ 絵の中の言葉を声に出して読んでから、文作りをしましょう。

くわいぐんじやんが、きれいな羽を大きく広げています。



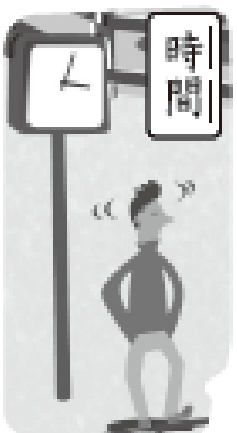
Blank writing area with two vertical lines.



Blank writing area with two vertical lines.



Blank writing area with two vertical lines.



Blank writing area with two vertical lines.



Blank writing area with two vertical lines.



Blank writing area with two vertical lines.



Blank writing area with two vertical lines.



Blank writing area with two vertical lines.



Blank writing area with two vertical lines.

Blank writing area with two vertical lines.

Blank writing area with two vertical lines.



㊦ つながりにちゅういして、漢字を使ってお話を書いじう。

※ 「そこで」「けれども」などのつなぐ言葉を使って、お話の続きを書いじう。



〈れい〉
まなぶくんは、たから物のある場所がか
かれた地図を見つけました。そこで、ぼ
う
けんに行くことになりました。



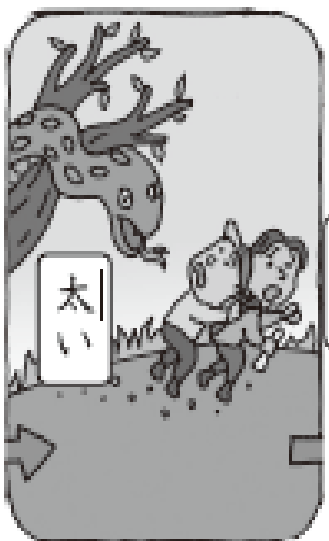
Blank writing area with two vertical lines.



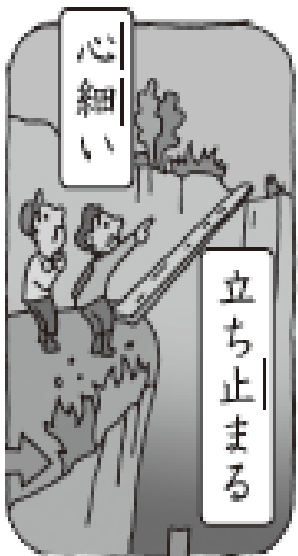
Blank writing area with two vertical lines.



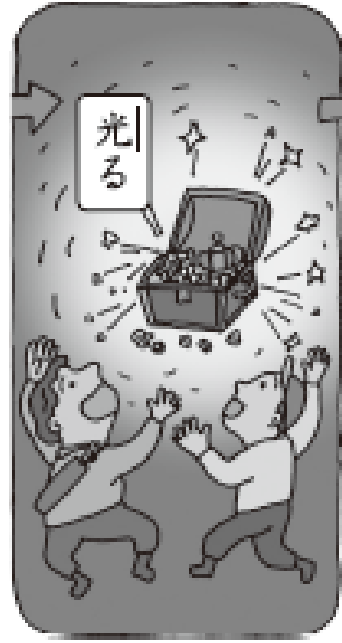
Blank writing area with two vertical lines.



Blank writing area with two vertical lines.



Blank writing area with two vertical lines.



Blank writing area with two vertical lines.

Blank writing area with two vertical lines.

Blank writing area with two vertical lines.

Blank writing area with two vertical lines.

Blank writing area with two vertical lines.

Blank writing area with two vertical lines.

国語辞典の使い方を知ろう。

○ 教科書三十二、三十三ページを読んで、□に言葉を入れましょう。

言葉 国語辞典を使おう

「深い青」の「深い」って、
どういう意味かな。



国語辞典は、言葉の意味、言葉の使い方、漢字での書きあらわし方などを知りたいときに使います。
では、「深い」という言葉を辞典で調べてみましょう。

国語辞典のれい

はしら
そのページにある、
さいしよとさいこの見
出し語がのっています。
長い言葉は、
とちゅうまで
しか書かれな
いこともあり
ます。



「あ」のところに
は、「あ行(あ・い・
う・え・お)」を一字
目とする言葉がのっ
ています。

漢字での書き
あらわし方

966

ぶか(部下)名 ある人の下で、命令や指示を受けて働く人。対上司

ふかい(不快)名 形動 いやな感じがして、おもしろくないこと。例 不快な顔をする。

ふかい(深い)形 ①表面または入り口から、底やおくまでの距離が長い。例 傷が深い。対浅い ②程度が十分なところまで達している。例 深い知識/愛情が深い。対浅い ③色がこい。例 深い青色。対浅い ↓しん(深)

ぶか(不覚)名 形動 ①思ふこと。例 不覚のなみだをこぼす。断をして、思わぬ失敗をすゝ覚にも気がつかなかった。

ふか(不覚)名 形動 ①思ふこと。例 不覚のなみだをこぼす。断をして、思わぬ失敗をすゝ覚にも気がつかなかった。

ふか(付加価値)名 生産物に、新たに加わった価値。

ふか(不可解)名 形動 わず、理解できないこと。例 動か。

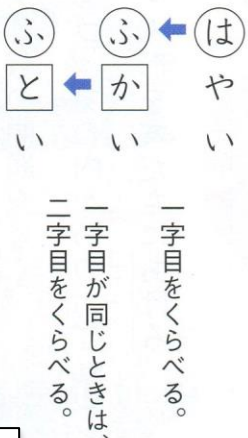
ふか(不覚)名 形動 ①思ふこと。例 不覚のなみだをこぼす。断をして、思わぬ失敗をすゝ覚にも気がつかなかった。

いくつかの意味がのっ
ていることもあります。

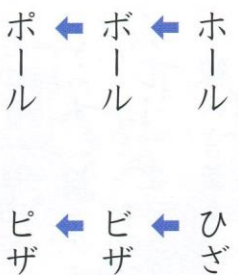
言葉の
その言葉を使ったみじかい
文がのっています。

見出し語の見つけ方

見出し語は □ 順にならんでいます。
「ひらがなとかたかな」 140ページ



□ のような濁音、濁音の後に □ のような清音の後に □ のような半濁音の順でなっています。



・「シール」「プール」のようなのばす音
がある語は、「しいる」「ぶうる」のよ

うに □ におきか
えられて、なっています。
カード ↓ かあど ゲーム ↓ げえむ
ゴール ↓ ごおる

文の中で、いろいろに形をかえる言葉
があります。国語辞典では、ふつう、左
の □ でかこんだ形が、見出し語
です。

かかない
かきます
かく
かくもの
かけば
かこう

ふかかろう
ふかかった
ふかくなる
ふかい
ふかい海
ふかければ

しずかだろう
しずかだった
しずかになる
しずかに
しずかだ
しずかな夜
しずかならば

使う 深い 意味 漢字 調べる



④ 国語辞典こくごじてんのならば方かたについて考えよう。

○ 以下の言葉を国語辞典でならべてある順ついでに並びかえて、□に番ばんじつを書きまわそう。
 くれい

- ①とら ②ねずみ ③うし ④くび ⑤やま

③	↓	⑤	↓	①	↓	②	↓	④
---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (1) ①えんぴつ ②こくばん ③うたば ④したじき ⑤ぼん

□	↓	□	↓	□	↓	□	↓	□
---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (2) ①かいもの ②かびん ③かおいろ ④かんさつ ⑤かた

□	↓	□	↓	□	↓	□	↓	□
---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (3) ①はやおき ②はやくち ③はやし ④はやき ⑤はやり

□	↓	□	↓	□	↓	□	↓	□
---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) ①きょうかい ②ちゅうしゃ ③ひょうしょう ④しゅうてん

□	↓	□	↓	□	↓	□
---	---	---	---	---	---	---

- (5) ①しゅうかい ②じゅう ③じゅうしよ

□	↓	□	↓	□
---	---	---	---	---

- (6) ①コート ②コーナー ③こうげい ④こうけい ⑤ルール

□	↓	□	↓	□	↓	□	↓	□
---	---	---	---	---	---	---	---	---



あなたの国語辞典では、どのような順番でならんでいるかな。

⑥ 国語辞典こくごを引いて、調べてみよう。

※ 家に国語辞典がある人は、じっさいに調べてみよう。ない人は、⑥と書いて、自分で意味をよもうとして書こう。

① 次の——線の言葉を、国語辞典にのっている形に直してから、意味を調べてみましょう。

(1) 高い山に登った。

うれい(うれしそうにわらう。)	うれしい	(直した形)	(意味)
	心楽しく、しあわせな気持ちであるようす。		

(2) あしたは早くおきよう。

--	--	--	--

(3) かきが突らなかつた。

--	--	--	--

(4) 南の海は青かつた。

--	--	--	--

(5) のどかな春の日。

--	--	--	--

② 「上がる」には、たくさんの方の意味があります。それぞれの文中の「上がる」の意味を調べてみましょう。

(1) ふろから上がる。

↑意味	
-----	--

(2) 二かいに上がる。

↑意味	
-----	--

(3) うてまえが上がる。

↑意味	
-----	--

(4) 人前で話すと上がる。

↑意味	
-----	--

(5) 朝食をお上がりください。

↑意味	
-----	--

(6) ごあいさつに上がる。

↑意味	
-----	--

○ みの回りで見つけた、春をかんじたものについて文しよつを書いじう。

○ 春をかんじぬじよびをぬめじゆめじゆ。

